

- 近年、自然災害が激甚化・頻発化する中、本県において自然災害が発生した場合に備え、ハード・ソフトの両面からインフラの機能を強化し、県民の生命と財産を守るため県土の強靭化を計画的・戦略的に推進
- 県土の強靭化については、必要な予算を安定的に確保し、継続的に進めることが重要

防災・減災、県土の強靭化

東京～山梨・長野 交通強靭化プロジェクト

- 交通強靭化に向けて関係機関が連携して取り組む交通強靭化プロジェクトを設立
- 災害復旧などで相互に連携するための協定締結や、防災工事の集中的実施より雨量による事前通行規制の撤廃など強靭化を推進

流域治水検討会

- 流域治水の総合的、計画的推進のため、総合調整を行う流域治水推進会議を設置
- モデル流域4箇所において、ハード・ソフト両面の対策を盛り込むアクションプランの策定に着手

(基幹対策)

高速ネットワークの整備

- 須走道路・御殿場バイパス、中部横断自動車道（静岡・山梨間）の開通により、山梨県が物流や人流のクロスポイントとして、海と空に開かれた場所「開の国」へ進化

県内ネットワークの整備

- 新たな御坂トンネルの新規事業化や新山梨環状道路東部区間の進捗など、地域間・拠点間を結ぶ県内ネットワークの連携強化

治水対策

- 横川の新規事業化や鎌田川の河川改修進捗など、洪水を防止し安全に流下させるための施策が進捗

土砂災害対策

- 土砂災害を未然に防止し、県民の生命・財産を守るため、土砂災害警戒区域の72箇所での新規事業着手

森林の多面的機能強化対策

- 県土の8割を占める森林の多面的機能の強化に向け、治山・林道・森林整備事業を推進

農村地域の防災・減災対策

- 農村地域における事前防災と減災対策を着実に進めるため、農業水利施設の整備や農地の保全等を推進

電力供給体制の強靭化

山梨県電力供給体制強靭化戦略

- 自然災害による大規模停電を想定し、連携した取り組みを推進
 - ・事前の対策によるインフラ被害の最小化
 - ・大規模停電からの早期復旧
 - ・災害に強いエネルギーシステムの導入

富士山火山防災対策

被害の軽減・回避のための対策

- 対策の基本となる計画等を見直すとともに、避難の実効性を確保するための取り組みを実施

継続的な公共投資4,600億円（令和4年度当初予算までに約6割を確保）

- 令和2年度～令和7年度までの想定事業量を社会資本整備重点計画（第四次）に掲載
- 県土強靭化を計画的・戦略的に推進し地域の安全性が向上
- 災害時の復旧活動を支える「地域のソフトインフラ」の安定的経営、担い手確保に寄与

□ 県土強靱化に必要な予算の計画的確保が重要

□ 災害時の復旧活動を支える「地域のソフトインフラ」の安定的経営、担い手確保に寄与

新たな試みとして、 中長期的な展望に基づく想定事業量を公表

令和2年3月策定

計画の想定事業量

令和2年度～令和4年度における想定事業量
概ね **2,200 億円**

「5か年加速化対策」の決定により見直し

令和3年3月改定

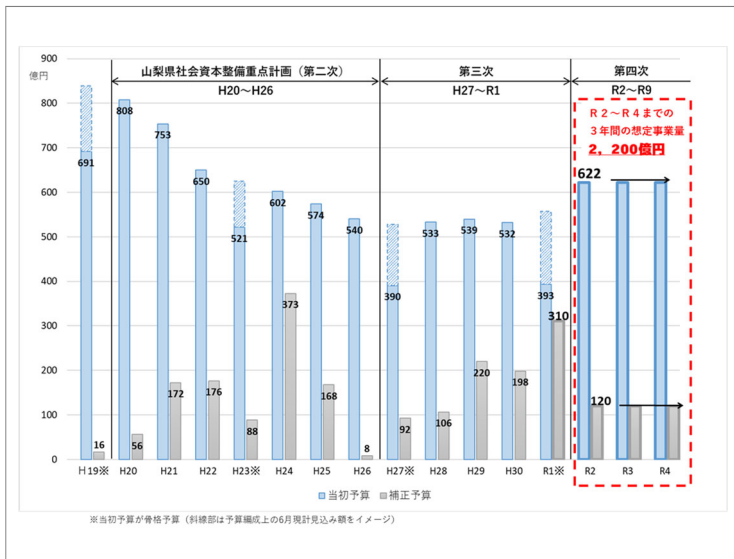
計画の想定事業量

令和2年度～令和7年度における想定事業量
概ね **4,600 億円**

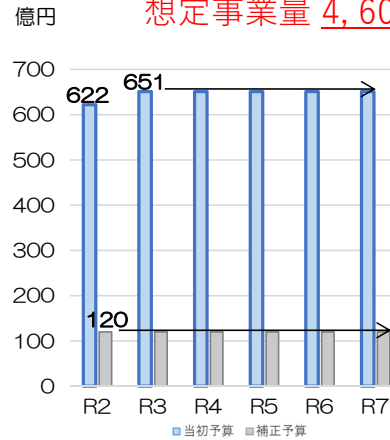
・ 県土強靱化の計画的推進 ・ 「地域のソフトインフラ」の安定的確保

令和4年当初予算までの進捗

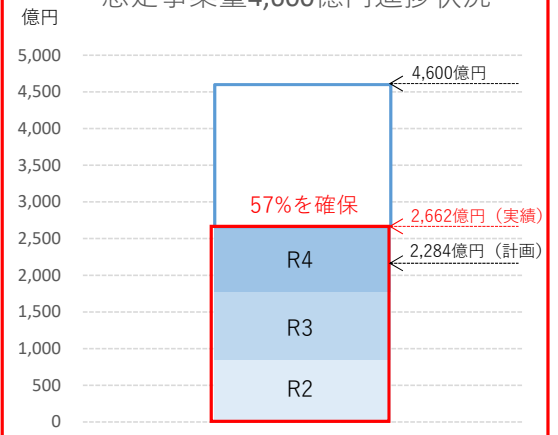
令和4年度当初予算までに
約6割を確保



R2～R7までの6年間の 想定事業量 4,600億円



想定事業量4,600億円進捗状況



※R2～R4は2月補正の経済対策を含む

令和2年12月 閣議決定
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策（R3～R7）